



# 南会津 のうりんニュース

## 今月の写真：囲炉裏(下郷町)

南会津も11月を迎え、吐く息が白くなってきました。こんなときはストーブとコタツ!!...もいいですが、昔ながらの囲炉裏に当たってみるのはいかがでしょう。  
柔らかな暖かさに、身も心も温まります。

## 今月の内容：

- 今月のトピックス
  - ・ 南会津産「会津のかおり」の新そばにみんなで舌鼓み!!
  - ・ 南会津さ来てけやれ～  
南会津観光物産展開催!!
  - ・ え?! お米が空を飛ぶ??  
雪国ならではの乾燥方法を実践!!
  - ・ 稲刈りってたのしイネ♪
  - ・ ふくしま森林・林業コンクールで知事賞受賞!!
  - ・ 飼料用米現地検討会開催!!
  - ・ 森林環境ゼミナールを開催しました。
- 今月のコラム
  - ・ 超ミニミニ菜園
- 特集
  - ・ 福島県の農林水産業振興計画について(第2回)
- お知らせ
  - ・ 南会津地方グリーン・ツーリズム研修会開催のお知らせ

平成21年11月24日発行 福島県南会津農林事務所

## 今月のトピックス

### 南会津産「会津のかおり」の 新そばにみんなで舌鼓み!!



多くの来場者でにぎわった会場

**第**1回南会津新そばまつり(主催:南会津新そばまつり実行委員会)が10月11、12日、南会津町の御蔵入交流館特設会場で開催されました。今年5月に発足した南会津そば振興協議会の企画によるものです。

出店したそば店は、御蔵入りそばの会(田島)、たていわ裁ちそばの会(館岩)、多々石そば道場(伊南)、友遊クラブ(南郷)、陽女の会(下郷町)の5店舗。南会津町産の「会津のかおり」を使用し、それぞれこだわ

りのそばの挽き方、打ち方、ツユ、ダシで販売しました。当日は予想以上の来場者となり、そば店舗前には長い行列ができました。来場者からは「とても美味しい!!」「そば本来の味が味わえた」「店舗によっていろいろな味が楽しめた!」等、多くのお褒めの言葉や感想が聞かれました。

最終的には、2日間でなんと約4,500食を売り上げる大盛況!! 来年度以降も規模を拡大し、継続しようと協議会は意気込んでいます。

ところで、最近、新聞紙上をにぎわしている「会津のかおり」の商標登録問題ですが、「福島県オリジナル品種会津のかおり」の名称で使用することは商標侵害には当たりません。不明な点がありましたら農林事務所農業振興普及部(0241-62-5262)までお問い合わせください。(農業振興普及部)

### 南会津さ来てけやれ～ 南会津観光物産展開催!!

**南**会津ってどこにあるの? どんどころ? そんな感想を県内各地でよく耳にします。近年は大内宿等が有名になり、知名度が上がってきましたが、まだまだ他地域の方には遠いところのようです。

それらを払拭するため、去る10月17日、南会津郡商工会長協議会主催のもと、「南会津観光物産展」をいわき市



大人気だった南会津の品々

の「小名浜さんかく倉庫」で開催しました。当日は天候にも恵まれ、郡内の個性豊かな商品が並び、目にも鮮やかな物産展でした。店舗は、午後には商品が無くなるどころが出てくるほどの好評を得、いわき市の方々を中心に南会津の産品をPRできました。



親子で参加した木工クラブ

物販以外にも、「KINOKOTO」では、南会津の端材を利用した家具を展示しました。もったいない木を使い、良好な樹木のサイクルを取り戻すことを目的に活動している団体ですが、その技術力の高さに来館者からは感嘆の声が聞かれました。

また、南会津地方グリーン・ツーリズム推進会議では、南会津地方の観光周遊活動のPRを行いました。設置した巨大スクリーンに映る南会津の原風景は、来館者の目を留め、「ここはどこ？あ！ここは行ったことがある!!」等の声や、「あの場所にはどういったらいいんですか？」と、尋ねる方も多くいました。

その他にも、体験コーナーでは切れ目なく参加者が並び、NPO法人森林野会が中心となった「木工クラブ」では、親子で楽しむ姿が多く、一緒に森林の大切さや恵みを感じているようでした。「1日の米の消費量当てゲーム」では、「家族4人だと、1日でこんなに食べるの??」と普段あまり気に留めないことが改めて新鮮に感じられたようで、皆さん真剣に取り組んでいました。

これらの活動を通じて、南会津が他地域の方に身近に感じられ、来訪者が増えることを期待しています。(企画部)

## え?! お米が空を飛ぶ??

### 雪国ならではの乾燥方法を実践!!



リフトに載せられ、乾燥される稲

南会津町の「祇園の里米づくりの会(星武男会長)」では、会津高原夢開発株式会社と協力し、今年

度お米の乾燥方法にとってもユニークな手法を導入しました。

稲の収穫から乾燥までの間リフトが稼働していないことに着目し、会津高原だいくらスキー場のリフトを使って稲の乾燥を行ったのです!! リフトを活用したことで、風向きや日当たりの調整が可能となったほか、あたたかも稲が飛んでいるような光景に、観光客が写真を撮りにくるなどスキー場の有効活用にもつながっています。

自然乾燥をすると、刈り取り後茎に残っている栄養が初に蓄積され、美味しくなると言われています。このお米(約1,500kg)は、道の駅たじまや同スキー場で販売されるほか、宿泊者の食事、観光客へのおにぎり作り体験等に使用する予定です。

会長は「来年も農業体験による消費者との交流を行い、南会津町の交流人口を増やしていきたい。」と意気込みを見せており、農商工連携による今後の発展が期待されます。

なお、お問い合わせは、会津高原夢開発株式会社津高原だいくらスキー場(電話0241-64-2121)まで!! (企画部・農業振興普及部)

## 稲刈りってたのしイネ♪

10月13日、南会津町立南郷第二小学校において、全校児童による稲刈りを行いました。台風20号による被害の影響が心配されましたが、見事



黄金色の稲穂ゲット!

黄金色の稲穂が辺り一面を覆い尽くしていました。

児童は手鎌を持って一列に並び、地元の田んぼの応援団の方々による指導のもと稲刈りを始めました。

収穫というものはやはり嬉しいものなのか、児童はどことなくこやかで、春から一生懸命育て上げた稲穂を刈り取っていました。手際よく行われ、1時間程度でもの見事に稲穂は刈り取られました。

次に、足踏み脱穀機を体験し、その後、コンバインを使って脱穀を行いました。足踏みでは大変だった作業が、コンバインではあっという間に脱穀されていく様を見て、児童は作業効率の違いに驚いていました。

今回児童の手で一生懸命収穫したもち米は、「収穫祭」でお餅に姿を変え、盛大に振る舞われます。

(農業振興普及部・農村整備部)

## ふくしま森林・林業写真コンクールで

### 知事賞受賞!!

郡山市のホテルバーデンにおいて、10月24日、福島県林業コンクール等表彰式が行われました。

これは、第34回福島県林業祭の関連行事で、林業コンクールやきのこ品評会など5つのコンクール等の表彰が合同で行われました。福島県森林・林業写真コンクールで南会津町の広野資郎さんが福島県知事賞を受賞したほか、きのこ品評会のなめこ・ひらたけ部門でも下郷町の星源一さんが知事賞に次ぐ森林組合連合会長賞を受賞するなど、南会津郡内からは5名、1校の方が入賞し表彰されました。(森林林業部)



表彰される広野氏

い所得の確保が見込めます。生産調整の約半分の500haが不作付けとなっている南会津地方の水田の現状を考えた場合、農業振興のための最も近道な手法の一つでしょう。来年度は飼料用米で遊休農地解消と生産調整達成の一石二鳥を狙ってみてはいかがでしょうか。(農業振興普及部)



耕畜連携の取り組みにより水田に突如現れた白い俵「飼料用のサイレージ」

## 森林環境ゼミナールを開催しました

御蔵入の里 会津山村道場において、去る11月7日、森林環境ゼミナールを開催しました。このゼミナールは県民参加の森林づくりへの理解を深めていただくことを目的として開催され、(財)フォレスト・エコ・ライフ財団の弦間一郎次長から「環境教育から見た森林の大切さ」を演題とした講義をいただきました。その中で、「すばらしい自然環境を子どもたちのために残していくことの大切さ」、「子どものときからの自然とふれあいが、自然を守ることに繋がっていく」ということを学びました。隣接するヒノキ林では、間伐体験や木工クラフトを福島県もりの案内人を講師として実施しました。

また、当日は同会場で南会津町林業祭も開催されており、当日来場も含め約50名が参加しました。

これらの活動をとおして、地域住民の林業への理解が深まり、森林保全へ繋がっていくことを期待しています。

(森林林業部)



間伐を体験

## 飼料用米現地検討会開催!!

只見町の梁取公民館において、町村・全農・JAを対象に、去る10月14日、飼料用米現地検討会を開催しました。

飼料用米の取組みは、行政とJAが遊休農地解消と生産調整達成を目的として、今年度新たに推進してきた活動で、只見町と南会津町伊南地域で計5名・5.4haの作付けが行われました。

この取組みにより、1.4haの遊休農地解消と生産調整達成が図られるとともに、稲ワラの畜産農家への供給(3.6ha分)という耕畜連携が行われるなど、大きな成果が上がっています。

飼料用米は、最大122千円/10aの助成金が国・県・JAから交付されるため、主食用米と比較し遜色のな

## 今月のコラム 超ミニミニ菜園

家庭菜園を始めたといっても、プランターや発砲スチロールでのこと。

ゴールデンウィーク明けに、ナス・ピーマン・ミニトマトの苗を1本植えた。次にトウモロコシ・オクラ・トウガラシ・ラディッシュ・サラダ菜などは種子を播種した。

毎日、水をやり見守っていると、土が持ち上がってきた。不思議なもので種類によって発芽はバラバラである。雑誌やインターネットで栽培方法をみて一生懸命世話をする。オクラ、トウガラシ、青ジソ以外はうまく収穫できた。

育ててわかったことがある。水を必要とするものはプランタにむかない。水を求めて根を張るが、す

ぐに水分がなくなり茎や葉がぐったりし、朝・夕の水でしゃっきりとなる。3階ベランダに置いても尺取り虫、青虫、ナメクジなどの虫が付いた。どうしてわかるのか自然の驚異!!

まあ〜、いろいろあったが美味しく私の胃袋に収まった。何事も、やってみることが大切であることを教えられた家庭菜園であった。

最後に、こちらで言う「もだっくうし」をささやかにやって、今年の野菜作りは終了。

企画部長  
齋藤潤一



右側から九条ネギ、ミニトマト、空芯菜、ピーマン、青ジソ、トウガラシ、ナス

今号では、現計画で南会津地方が取り組んだ成果等について報告します。

1. キャッチフレーズ

『豊かな自然を生かした園芸産地とやすらぎの里づくり』

2. 施策の柱と取組内容

① 担い手の育成確保

農業生産者・林業従事者の高齢化・後継者不足は続いています。認定農業者は年々増加し、またI・Uターン等による新規就農者も毎年確保しています。

② 園芸産地の育成

トマトでは、経営規模の拡大や新規参入者により栽培面積を維持しています。アスパラガスでは省力化や三色アスパラガスによるブランド化が進みました。リンドウでは県オリジナル品種等優良品種への更新が進んでいます。

③ グリーン・ツーリズムの推進

優れた自然環境等を有効活用し、教育旅行の受け入れが盛んになっています。子ども農山漁村交流プロジェクト受入モデル地域に南会津町・只見町が選定されました。

④ 地域特産物の生産拡大

そば、会津地鶏等特色ある地域特産物の生産を拡大するとともに、加工や直売による販売拡大が進んでいます。

⑤ 生産基盤の整備

生産コスト低減、生産性向上による担い手の育成を図るため、農地を大区画化・汎用化するほ場整備や園芸作物の施設化など、生産基盤の整備を進めています。

⑥ 中山間地域の振興と生活環境の整備

只見町の農業集落排水処理施設整備が完了する等、

生活環境の向上を図るとともに、農地や土地改良施設の適正な管理による多面的機能の維持・向上を図っています。

⑦ 遊休農地の利用促進と環境にやさしい農業の推進

企業参入などによる遊休農地の再生利用やエコファーマー認定への誘導等、環境にやさしい農業を推進しています。

⑧ 多面的機能の発揮に向けた森林整備

森林が持つ水源かん養や土砂災害防止などの機能を発揮させるため、長伐期施業<sup>※1</sup>への転換、複層林<sup>※2</sup>への誘導、広葉樹の整備などを推進しています。

⑨ 森林の働きによる安全で豊かな県土の形成

山地災害未然防止・災害復旧を目的とした治山ダム等の整備や、森林の公益的機能強化を目的とした保安林の適正配備等を行っています。

⑩ 県産木材等の需要拡大

カラマツを代表とした地域材の利活用やペレットストーブ導入促進による新たな木材資源の有効活用など、県産木材の需要拡大に努めています。

また、ハタケシメジやアクの弱いワラビなど特色のある特産林産物の栽培の普及に努めています。

総括すると、農林業や過疎・中山間地域をとりまく情勢が非常に厳しいことには変わりはありません。その中であって、加工・直売施設の開設が好調で、地産地消や食の安全・安心、農産物の高付加価値化(生産から加工、販売までを行う。6次産業化)が進行していること等が挙げられます。

今回は、新たな農林水産業振興計画が決定され次第、概要をお知らせします。(企画部)

※1 標準伐期齢の約2倍以上の期間で間伐すること。

※2 林冠(枝や葉の茂っている部分)が上下段違いに2つ以上形成されている森林。

農林事務所からお知らせ

平成21年度南会津地方グリーン・ツーリズム

研修会開催のお知らせ

南会津地方グリーン・ツーリズム推進会議(事務局 JA会津みなみ、南会津農林事務所)では、管内のグリーン・ツーリズム(農山漁村地域において自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型の余

暇活動の意)実践者のスキルアップを図るため、右記のとおり研修会を開催します。

今回のテーマは、「グリーン・ツーリズム実践者の地域連携」についてです。皆様奮ってご参加ください。

日時 平成21年12月16日(水) 14:00~17:00

場所 御蔵入交流館多目的ホール

参加費 無料

(企画部)

お問い合わせ先はこちら

福島県南会津農林事務所 企画部 地域農林企画課

〒967-0004 福島県南会津郡南会津町田島字根小屋甲4277-1

電話 0241-62-5252 FAX 0241-62-5256

電子メール minamiaizu.nourin@pref.fukushima.jp

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/norin-minamiaidu/>

南会津農林

検索

バックナンバーはこちら



ふくしま食と農の絆づくり運動

みなさんのご意見・ご感想をお寄せください。



この広報誌はSOY(大豆油)インキを使用しています。